

平成29年度 事業計画案

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

東日本大震災から6年が経過し、瓦屋根が災害に弱いとする風評被害が改善されてきている矢先に、昨年4月に熊本地震10月には鳥取地震が発生し、瓦屋根の被害が出てしまいました。多くは築後20年～30年以上経過した建物であり、調査の結果ガイドライン工法の瓦屋根施工の建物には、被害はありませんでした。

「構造計算」や「壁量」の正しいあり方や、「耐震耐風工法」の説明など、昨年度の「軽い屋根より丈夫な家」・ZEH対策セミナーによって修得した知識など、今まで培ってきた知見を持って、広報活動を早急に進めていく必要があります。広く一般消費者や建築関係者への広報活動と共に、行政機関への積極的な陳情活動の展開が急務です。業界団体として傘下事業所の業務発展に資する事業に併せ、私達には日本の瓦文化と良質な技能の継承が求められています。

全瓦連が主催する技能グランプリの開催に際しては、各地域ブロックや各単組に於いて技能を尊重する機運を高め、積極的な参加が望まれます。

本年も会員事業所の繁栄と継続のために有効な事業展開を図ると共に、長期的な視野に立った組織と事業の拡充を視野に、運営を担ってまいります。皆様方のご理解ご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

主な事業計画案

1. 指導委員会

- ・関係する行政機関への有効な陳情活動の推進
市町村・都府県への陳情マニュアルの作成及び陳情資料の整理と提供
- ・災害対策マニュアルの活用
災害対策マニュアルとして災害規模に合わせて近隣地域との協力体制を構築することを検討
- ・単組組合の組織活性マニュアル作成
理事会・委員会で内容が単組の委員までは届くが、その先にも届くように単組の組織作りを検討

2. 技術委員会

- ・災害時の初期対応のブルーシートのかけ方の研究調査、報告、活用
- ・JKY-2014の活用状況と問題点の調査、報告

3. 安全対策委員会

- ・ 第三者賠償保険・瑕疵担保保険の一層の充実と加入促進
- ・ 施工時の事故率の低減の計画と推進
- ・ 労災事故の撲滅
ヒヤリハット実例集を発刊し、事故削減を図る
- ・ 安全カレンダーの作成と研究

4. PR 委員会

- ・ 「軽い屋根より丈夫な家」のパンフレット作成
- ・ 「KAWARA」ユネスコ無形文化遺産登録の推進
- ・ PR 大賞の募集と実施
- ・ PR グッズ作成や広報活動計画
- ・ 全瓦連ロゴ入り統一ブルゾン制作

5. (一社) 全日本瓦工事業連盟 社団法人許可 40 周年記念事業の開催

6. 社会保険加入の指導の促進